

事務事業名	公共下水道利用促進事業	整理番号	31301-000
所 管	下水道課 計画・加入促進スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成6年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	下水道法、御殿場市下水道条例
基本計画における位置付け	基本政策	3-1 環境の保全と自然との共生	関連政策
	政策	3-1-3 適切な生活排水処理の推進	2-4-3 良好な生活環境の確保

事務事業の内容

目的 (何のために)	市街地の健全な発展及び公衆衛生の向上に寄与するとともに公共水域の水質の保全に資する。合わせて施設の有効利用により経営の健全化を図る。
対象 (誰・何を)	公共下水道整備済み区域
手段 (どのようなやり方で)	清潔で快適な市街地の実現・公共用水域の水質良化・安定した下水道経営
成果 (どのような状態にしたいか)	#REF!
事務事業の背景・住民の意向	供用開始日から6か月以内の接続が義務づけられているが、宅内排水設備の改造に多額な費用個人負担を伴うことや、既設の合併浄化槽による処理しているなどの理由で接続しない家が多い。
見直し改善の経過	利用促進強化策として平成15年度から新規の供用開始世帯へのチラシ配布を実施、平成17年度からは未接続全世帯を対象に戸別訪問による接続促進活動を実施した。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)												
平成16年度	受益者負担金説明会6回、工事説明会随時、市広報紙2回、チラシ配布(新規供用開始世帯全戸)、融資斡旋制度1件	<table border="1"> <caption>投入コスト(千円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>直接経費(上段)</th> <th>人件費(下段)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16年度</td> <td>~100</td> <td>~680</td> </tr> <tr> <td>17年度</td> <td>~100</td> <td>~680</td> </tr> <tr> <td>18年度</td> <td>~100</td> <td>~550</td> </tr> </tbody> </table>	年度	直接経費(上段)	人件費(下段)	16年度	~100	~680	17年度	~100	~680	18年度	~100	~550
年度	直接経費(上段)		人件費(下段)											
16年度	~100		~680											
17年度	~100	~680												
18年度	~100	~550												
平成17年度	受益者負担金説明会6回、工事説明会随時、市広報紙2回、チラシ配布(新規供用開始世帯全戸)、融資斡旋制度0件、戸別訪問900世帯実施													
平成18年度	受益者負担金説明会6回、工事説明会随時、市広報紙2回、チラシ配布(新規供用開始世帯全戸)、融資斡旋制度0件、戸別訪問650世帯実施													

評価指標

評価指標	H16	H17	H18	H25目標
下水道接続率(%)	~70	~75	~80	~85
年間汚水量(千m ³)	~1,800	~1,800	~2,000	~3,000
接続世帯当り啓蒙費(円)	~2,000	~1,500	~1,000	~1,000

事務事業の評価

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	あらゆる手段を講じて利用促進を呼びかけているが、今後も訪問による利用促進などを継続実施していきたい。	継続
	有効性		
効率性			
一次評価	B		
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	今後の方向性
二次評価	B	接続率の向上により一層の工夫が必要	継続

改革プラン

平成19年度からの対応	H18年度で650世帯を戸別訪問し、接続の啓蒙と同時に接続しなかった原因のアンケート調査を実施した。今年度についても450世帯を実施する。事業拡大に伴い地区説明会を実施し啓蒙活動をする。
平成20年度以降の対応	H20年度引き続き未接続世帯の戸別訪問を実施する。
改革により予想される成果	戸別訪問による成果を予測することができないが、接続率3%アップを目標に臨みたい。また、未接続者と直接会話を通して実情を把握し、今後の啓蒙活動の図りたい。